

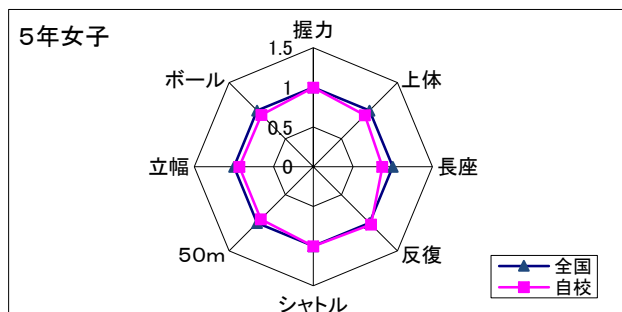
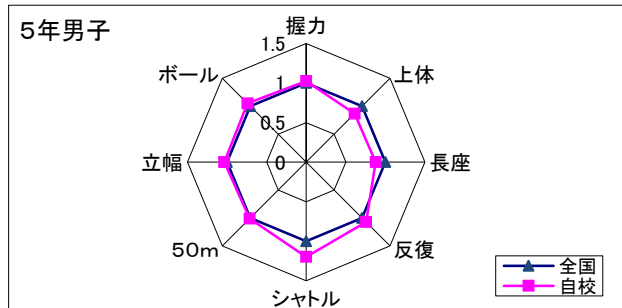
学校名

小22 昭和西小学校

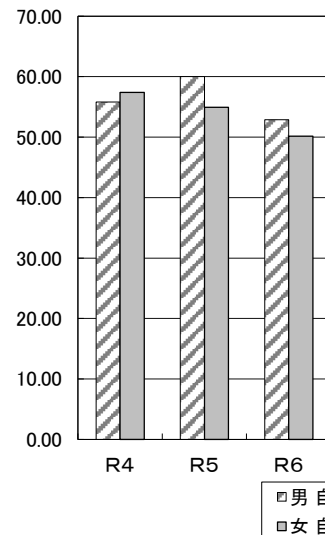
1 自校の実技結果と全国平均との比較

学年	性別		R6平均値								体力合計点		
			握力 (kg)	上体 (回)	長座 (cm)	反復 (点)	シャトル (回)	50m (秒)	立幅 (cm)	ボール (m)	R4	R5	R6
5年	男	全国	16.02	19.19	33.79	40.67	46.90	9.50	150.46	20.74	52.29	52.60	52.54
		自校	16.42	16.60	29.66	43.43	56.17	9.42	155.73	21.80	55.80	60.00	52.90
		比較	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○
	女	全国	15.78	18.16	38.21	38.71	36.60	9.76	143.18	13.15	54.32	54.29	53.93
		自校	15.76	16.64	33.24	39.76	36.69	10.40	133.62	12.14	57.42	54.95	50.18
		比較	△	△	△	○	○	△	△	△	○	○	△

※全国平均以上の種目…○ 全国平均未満の種目…△



体力合計点の推移



2 重点種目の結果についての分析

呉市の重点種目	中学校区の重点種目 ※義務教育学校は、自校の重点種目	自校の重点種目 ※義務教育学校は、前期課程の重点種目
50m走	20mシャトルラン	上体起こし
〈成果と課題〉 ・男子は全国平均値を上回ったが、女子は下回る結果となった。 ・休憩時間や放課後等、日頃の運動量に差が見られることが課題として挙げられる。体育科の学習を行う上で、運動量を確保した授業を行うよう改善を図る必要がある。	〈成果と課題〉 ・男女ともに全国平均値を上回る結果となった。特に男子は10回近く上回っている。 ・昨年度の自分の記録や全国平均値と比較し、目標をもたせて取り組んだことが効果的であった。しかし、数値の高い児童と低い児童の二極化が見られるため、年間を通じて、継続的に取り組めるような活動を考えていく必要がある。	〈成果と課題〉 ・男女ともに全国平均値を下回る結果となった。 ・6月の体力テストの結果を受けて、2学期に家庭学習で上体起こしに取り組み、再計測を行った。男子が20.6回、女子が19回と平均値を上回った。この結果を受けて、来年度は授業始めの準備運動や家庭学習として学校全体で取り組んでいくとよいと考えている。

3 児童質問紙調査の結果及び分析

運動やスポーツをすることが好きな児童の割合			朝食を毎日食べる児童の割合			1週間の総運動時間が60分以上の児童の割合		
男子	全国	93.3	男子	全国	81.3	男子	全国	90.8
	自校	96.6		自校	69.0		自校	89.7
女子	全国	86.2	女子	全国	79.5	女子	全国	84.0
	自校	89.3		自校	89.3		自校	67.9
〈成果と課題〉 ・男女ともに全国平均を上回る結果となった。 ・野球、バスケットボール、サッカー、ダンスなど、スポーツ少年団や習い事の活動が盛んな地域であり、所属している児童が多く、運動やスポーツをすることを楽しんでいる児童が多いと考えられる。			〈成果と課題〉 ・男子は全国平均を下回ったが、女子は上回る結果となった。 ・「朝食を食べない日がある」という児童が男子で3割いる。児童や家庭への調査等を特に行っていないため、来年度は学期に一度、または期間を決める等、朝食に関する調査等の取組を考えていく。			〈成果と課題〉 ・男女ともに全国平均を下回る結果となった。 ・習い事をしていない児童は、体育の授業だけが運動をする時間となっており、休憩時間や放課後等に体を動かすことが少ない。テレビやゲーム等の視聴時間が2時間以上の児童が男子75.9%、女子53.6%と非常に高いことも影響していると考えられる。		